

茨木市文化振興財団設立 20 周年記念 / 第 198 回公演

上方落語 五流派並演会 Vol.10 記念公演

番組

解説「上方落語界の現状」相羽秋夫
 「地獄めぐり」桂 春蝶
 「茶屋迎え」林家染二
 「しじみ売り」桂 ざこば
 中入
 「源太と兄貴」笑福亭仁智
 「へっつい幽霊」桂 文珍

お囃子 / なにわの会

2016.6.5 [日] 14:00 / 茨木クリエイトセンター・センターホール

【全席指定】1階席4,000円 / 2階席3,000円 ©65歳以上、障害者及びその介助者は500円引き ©青少年(24歳以下)1,000円

■予約開始: 4月23日(土)9:00 ■お問合せ: (公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055

■主催: 公益財団法人茨木市文化振興財団 ■制作: 三栄企画 ■構成: 相羽秋夫

超人気落語家が顔を揃えた記念公演を、

お見逃しなく!!



相羽秋夫(演芸評論家)

おかげさまで、この落語会は十回目の節目を迎えることになった。しかも期せずして、茨木市文化振興財団が設立されて二十年になる。二重の喜びの中で、記念の催しが出来ることに無上の幸せを感じている。これも、落語を愛して下さっている皆さんが、毎回完売・札止めの熱心なご支援の賜物であると、心からの御礼を申し上げます。

さて、その記念公演の顔ぶれは、この会で皆さんが大好きな落語家を選んでいただいたアンケート結果をもとに、五つの一門のそれぞれ人気一位の演者ばかりが、花を添えて下さることになった。つまり、皆さんがこしらえた落語会なのである。

どうです。実に魅力的な、わくわくするような出演者ばかりではありませんか。皆さんの落語に対する思い入れが、ひしひしと伝わってくるではありませんか。

申すまでもなく、この会は、上方落語界を構成する五つの一門、笑福亭一門・米朝一門・春団治一門・文枝一門、それに林家一門の中から一人ずつの演者が集まって、一門の威厳をかけてぶつかる落語会なのである。「五流派競演」というタイトルを掲げている公演は、唯一無二だ。二〇〇五年に第一回を開催して以来、当初は隔年であったものが、毎年催すことになり、十一年の歴史を刻んで、今回十回目に到達した。

それでは、落語界の人氣者が集まる紅白歌合戦とも言うべき「VOL10」の演者と演目のご案内に移ろう。

□ 口開けは、春団治一門の三代目桂春蝶である。

この一月に亡くなった「上方落語四天王」の一人、春団治の最後の弟子である。春蝶の実父は、やはり春団治門下の先代春蝶で、亡父の通夜の席で後を継ぐことを決意して春団治入門を請うた。

父の名跡を継ぎぬよう一人倍の努力を重ねている姿は感動的である。

□ 「地獄めぐり」は、古典「地獄八景亡者戯」を改作して、春蝶が自ら筆を執った。古典と並んで新作にも力を入れる春蝶の渾身の力をこめた作品だ。意外な展開に乞うご期待。

□ 続く林家一門の三代目林家染二は、文化庁芸術祭優秀賞をはじめとする数々の賞に輝く逸材である。

この一門は吉本興業に所属する人が多いが、自らプロダクションを設立して、充実した仕事を続けている。同時に

ふくれ上がった一門の筆頭弟子として、師匠染丸の良き片腕となって門下の切り盛りをするなど、貴重な存在である。

□ 「茶屋迎え」は、東京では「不孝者」と演題を変えて演じられるが、きわめて珍しい斬で、上方では演者が少ない。染丸の孝行息子の染二の好演が楽しみである。

□ 中入りのトリは、米朝一門の二代目桂ざこばである。最も人数の多いこの一門の牽引者である。米朝も安心して、ざこばに一門の責を託している。

同時に、上方落語の中心的存在として、二百人近い落語家のご意見番でもある。人情家で義理堅く、面倒見が良いので、ざこばを慕う若手は多い。

□ 少なくなくなった昔気質の芸人風風を持った落語家として、その声価は高くなる一方だ。

上方落語で貴重な人情斬「しじみ売り」は、ざこばにぴったりの演目である。ハンカチを用意して座席に付かれない。

□ 中入り明けの笑福亭仁智は、笑福亭一門を代表しての出演である。

早くから創作落語に非凡な才能を開花させ、百本をゆうに越える作品を創り出した。そのどの斬も傑作で、しかもユニークである。間違いない当代を代表する「創作テラー」である。

それは、二度にわたる文化庁芸術祭優秀賞の受賞で実証済みである。最も油の乗り切っている時期だけに、これからもどんどん秀作を世に送り出してくれよう。

□ 「源太と兄貴」は、そうした作品の一つで、抱腹絶倒のひとつを保証する。

□ トリの桂文珍は、当競演会に我々が待ちこがれての登場である。

五代目文枝一門で、兄弟子六代目文枝と妍を競ってきた。シンセイザイザイを使った独自の落語を考案して注目されたが、近年は古典に軸を置いている。その力量は高く評価され、芸術選奨文部科学大臣賞受賞で、見事に結実した。

東京の国立劇場で十日間におよぶ長期独演会を成功させ、その上に、日本全国を行脚しての同様の会を敢行するなど、文珍の活躍は天井がない。古典の「へつつい幽霊」で、文珍落語の真髄を堪能されたい。

(敬称略)

平成28(2016)年6月5日[日]14:00開演(13:30開場)

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席指定]1階席4,000円/2階席3,000円 ◎65歳以上、障害者及びその介助者は500円引き/青少年(24歳以下)1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団のみです) *就学前のお子様はご遠慮ください。

4月23日[土]9:00予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(9:00~17:00)/インターネットチケットwww.ibabun.jp

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00~17:00) ◎福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00~17:00)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。

手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座)00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

◆その他プレイガイド(初日店頭販売あり 10:00~)

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約 0570-084-005(Lコード58616)http://l-tike.com

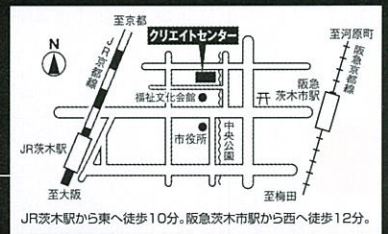
*ローソンチケットの取り扱いチケットは、ローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード449-124)http://pia.jp/

*チケットぴあの取り扱いチケットは、サンクス、サークルK、セブンイレブン各店舗で直接購入できます。

◆主催:公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆制作:三栄企画 ◆構成:相羽秋夫

◆後援:茨木商工会議所/茨木市観光協会



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。